

絵本とぬいぐるみが織りなす夢の世界

◎ぬいぐるみおとまり会

物語の世界に見入る子どもたち



「ぬいぐるみおとまり会」は10月10日、中央公民館図書室で行われました。この日は8組の親子が、お気に入りのぬいぐるみと一緒に参加。音楽や手話に合わせた読み聞かせが行われ、親子が一緒に読んで絵本の世界を堪能しました。おはなし会が終わった後には、ぬいぐるみは図書室にお泊まり。誰もいない夜の図書室で「何をやるのかな」と想像を膨らませながら、子どもたちは家路に着きました。翌日、ぬいぐるみのお迎えに来た子どもたち。一体どんなお話をぬいぐるみから聞かせてもらったのでしょうか。

稲刈りを通して、自然の恵みに感謝

◎ふれあい農園事業 古代米稲刈り

石器による稲刈り体験に挑戦



10月9日、泉小学校で、古代米の稲刈りが行われました。このお米は、6月に泉小学校児童たちが田植えしたもので、これまで赤米と黒米の2種類の古代米を栽培してきました。今年は、タイムマシーンに乗ってきたという弥生人が登場し、児童たちに石による稲刈りを伝授。稲穂を一つ一つ刈り取っていく方法に児童たちは悪戦苦闘し、弥生時代の稲刈りの大変さを、身を持って体感していました。その後、児童たちは鎌を手に、大切に育てたお米を、みんなで協力しながら手際よく刈り取っていました。

列車に親しみ、食を楽しむ

◎よどせん感謝祭2015

ミニSLに乗ってにつこり笑顔



10月17日と18日の2日間、宇和島市のコスモスホール3間の第2駐車場では「よどせん感謝祭2015」が行われました。会場では、ミニSLの乗車会が行われ、これを目当てに集まった大勢の子どもたち。この日は、6種類の車両が準備されていたこともあり、「全ての車両に乗りたい」と何度も繰り返し、乗車会の列に並ぶ子どもたちの姿が見られました。また、「よどせんマルシェ」と題した予土線沿線地域の特産品の販売やかかし作り体験などが行われ、訪れた人たちを楽しませていました。

等妙寺に色濃く残る伝説の世界

◎「国史跡等妙寺旧境内」講演会

伝承の大切さを訴える山本氏



10月18日、近永公民館2階講堂で国史跡等妙寺旧境内講演会が行われました。「鬼北の『鬼』の起源とは？」中世等妙寺の世界観にせまる」と題して、日本山岳修験学会理事の山本義孝氏を講師に開催された本講演会。山本氏は「多くの人々がさまざまな文化財に対して持っているイメージは本来のものと異なっていることが多い。本来の姿を伝承するためには、もつと違う視点で見なければならぬ」と熱弁しました。また、テーマである「鬼」の起源について、「山の民とも呼ばれた山棲の人々のこと」と講話を締めくくりました。